西洋文化入門Ⅱ

科目ナンバリング EUS-102
選択必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

イギリス劇場文化の史的展開を追う。

2. 授業の到達目標

18世紀から20世紀前半までのイギリス社会と劇場の関係を理解し説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

毎回、小テストあるいは作業を行い、これをリアクションペーパーに記入して提出してもらう(30%)。学期末試験(70%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを配布する。

参考文献

Joseph Donohue ed. The Cambridge History of British Theatre, vol.2 1660 to 1895 Cambridge University Press

Baz Kershaw ed. The Cambridge History of British Theatre, vol.3 since 1895 Cambridge University Press

5. 準備学修の内容

川成洋 編著『イギリスの歴史を知るための50章』(明石書店、2016年)から、各回に対応する箇所を読んでおく。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 劇場と女性の存在
- 【第3回】 劇場、政治、道徳
- 【第4回】 ドゥルーリー・レイン劇場とデイヴィッド・ガリック-1747-1776年
- 【第5回】 劇場における「革命」-1776-1843年
- 【第6回】 作品視聴
- 【第7回】 劇場とヴィクトリア中期の社会-1851-1870年
- 【第8回】 ヴィクトリア朝期の劇場における性区別
- 【第9回】 大衆娯楽-1776-1895年
- 【第10回】 作品視聴
- 【第11回】 演目の新潮流と旧来の劇場
- 【第12回】 巡業劇団とレパトリー運動
- 【第13回】 歌劇文化の展開とイギリス人意識
- 【第14回】 1926年-劇場史の一大局面
- 【第15回】 授業内学期末試験